



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 永井正美
幹事 西澤吉樹 会報委員長 村上武史

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2160

2013-11-22

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェaton都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

本日の例会) 11月22日(第4例会)

- 卓話 「平成25年度税制改正と今後の税制」
梅崎道夫会員
(プログラム委員会担当)

次週のお知らせ) 11月29日(第5例会)

- 卓話 「次世代ロボットの法律問題について」
実用化が近い次世代ロボットの直面する
法律問題は何か、日本のロボット開発は
なぜ遅れているのか、についてお話し
します。
小林正啓会員
- 食膳 〈フランス 魚料理〉

次々週のお知らせ) 12月6日(第1例会)

- 例会時間変更 17:45 ~ 18:00
終了後年次総会
- 年末家族会 18:00 ~ 20:30

先週の記事) 11月15日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 39名 (内免除会員 8名)
会員総数 55名 (同上 17名)
ゲスト 1名
ビジター 1名

計 41名

ホームクラブ出席率 82.97%

10月25日(第4例会)補正出席率 96.00% (MU 9名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)

上田 豊 (大阪南)

小山義之 (大阪鶴見)

◆会長の時間◆

- 10月18日指名委員会が開催され、次々年度会長
に南賀勝之会員、次々年度理事に今岡巖、尾崎敬則、
小林正啓、平瀬健、岩永建保、中尾吉計の各会員が
推薦され、出席者全員一致で承認されました。
- 10月25日パスト会長会が開催され、次々年度地区
ガバナー補佐に三木敏裕会員がIMホスト委員長
に梅崎道夫会員がそれぞれ推薦され承認・決定さ
れました。

◆幹事報告◆

地区青少年交流委員会より第2回派遣候補生オリエンテーション及びROTEX主催クリスマスパーティーのご案内が届きましたので、岩永新世代奉仕委員長に回覧いたしました。

◆委員会報告◆

①国際奉仕委員会報告

国際奉仕委員長 小林正啓

平成26年6月1日からシドニーで開催されるRI国際大会へのオンラインエントリーのご案内をポストしました。

②「ロータリーの友」11月号の紹介

雑誌・広報委員会

ロータリー財団月間に伴いその特集が組まれております。

横P8~14補助金を活用しタイで行われた奉仕活動が2例紹介されております。末尾の「ロータリーの奉仕活動においては奉仕される側より、奉仕をする方がより感動をもらい心が癒される」との言葉が印象的です。

P26でポリオによる麻痺のハンデが有りながら障害者支援を行っている韓国人男性とロータリーの関わりが紹介されています。

P35からのRI指定記事で、職業奉仕の例として、病院船アフリカ・マーシー号の取り組みが紹介されています。P42で職業奉仕を实践する方法が簡単に挙げられています。

11月はロータリー財団月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

P43に「世界最大のCM」という興味をひく言葉が出ています。

縦組ではP4からの記事で、福島県天栄村の農家の方々の原発事故後のご苦勞と粘り強さに感銘を受けます。カタカナ名のフクシマから漢字の福島へ戻りたいとの一言が重く心に響きます。

◆ 退会の挨拶 ◆

池宮 真会員

「突然の報告となりますが、異動発令があり、12月1日付で株式会社近鉄旅館システムズへ出向する事となりました。

サラリーマンの宿命とは言え、突然の報告となりました。

昨年7月に入会して、慣れて来たところであり、これから年末家族懇親会を迎える中、担当できず、申し訳ございません。ゴルフコンペ、酒味の会にと楽しい思い出をいただき、また皆様からのご意見、ご指導は仕事に大いに役立ち、感謝しております。

次の会社では、信頼回復のため業務に精励致します。10月27日の大阪マラソンに出場して、無事に完走しており、家庭も円満ですので、体調は心配ございません。

今後ともシェラトン都ホテル大阪をよろしくお願ひ申し上げます。

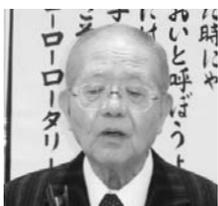
また、お会いした時には、ロータリーソング同様に、やあと声を掛けていただければ、幸いです。

皆様のご健勝、ご多幸を祈念しております。

卓 話

11月15日 <第3例会>

「創立時の思い出」



光信昌明会員

我が大阪城南RCは、大阪東RCをスポンサークラブとして、特別代表峯村氏のお世話で創立会員26名で1969年5月30日に創立しました。

5月30日第一例会を開き、

11月14日ガバナー公式訪問、

11月22日には四クラブ合同チャーターナイトを挙行し、2月6日例会場を近鉄レストラン都に。

2月27日、365地区年次大会京都に出席。3月19日万国博例会を東クラブと合同で行い5月22日会員39名となる。6月5日に創立一年を迎えた。

その間、印象に残る三つのガバナーの話を今思い出してみたいと思います。

第一は、原田PGのロータリー的素養の話。例会に出席してロータリー的雰囲気の中で、ロータリー的考え方、ものの見方が身についてくるので、これを我々はロータリー的素養といい、この素養を自分の職業や社会に適用したり応用したりすることが奉仕である。

第二は、塚本PGの卓話に関して、上手に話せば自分の意思を20分で十分に伝えられる。Rの例会は、そのよい練習場で、失敗しても聞き手は仲間であるから安心してやれる。例会を食事20分、各種報告を20分、卓話を20分にしてもよい。日本の例会は堅苦しい。益々、世の中の文化が進み、生活があわただしくなると神経がいらだち、体はかたくなる。皆さんの休息の場としてRの例会を活用したい。

第三は、深川PGでロータリーの運動は倫理運動だ。RCに奉仕の心を授け、倫理を提唱していく団体であります。最近、RIの日本人理事がロータリーの友に以下の文を掲載している。

「変貌するロータリーを前に、日本のロータリーがその変貌を肯定的な折り合いをつけていくために、どんな思考と手順を要請させているか、これに見通しが立たない不安です」と述べている。

変貌の核心は、RCの存在意義の変質でしょう。RIの認識では、RCは人道的奉仕活動の世界的ネットワークの一単位である。「異業種の会員相互の交流による自己改善の場」であり、背景として、地域社会に貢献するという従来の認識とその主体性の軸足を失っている点で、明らかに異質なものだと思う。「国際ロータリーのロータリー財団」すべての財団活動はRIの活動の一部である。

BRANDINGでは、ある調査会社に依頼して、RI理事会と財団管理委員会との協議の元にRのあるべき姿を検討し、統一的で信頼に値する組織イメージを確立しようとするもの。我々にとって全く方向の違うロータリー像へ偏向する恐れがある。何にしても、RIの考え方と日本のRCの考え方は相いれない思考だと思えます。

にここ箱

11月15日 (第3例会)

- 3月11日朝のNHKニュース(関東版)で当社が経営します、所沢パデルコートが放送されました。

村上(泰)会員

- 母が11月8日、97歳で永眠しました。内藤先生お世話になりました。

片山会員

(編集担当 西・三宅)

会員増強にご協力を!!